



Handwritten text in a cursive script, likely a form of Arabic or Persian script, filling the left page. The text is written in a fluid, connected style with many loops and flourishes.

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Arabic or Persian script, filling the right page. The text continues from the left page, maintaining the same fluid, connected style.





かき抄上

不盡谷氏口傳

門人

吉川彦富

山口高端

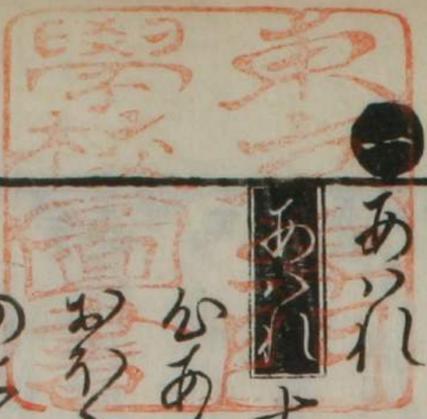
筆受

あれ

あれ

古語拾遺曰阿波社言天晴也これ月つけたまふ  
公ありどりく古言かぎに尺すらあり夏言上古の  
おろく句ら末よなまそくうらるるあつるを中昔よりい句  
のよものおまなうら古今るまむあれ拾遺に後  
乃作者らなるのいよあつらうは事あふかたう死  
事をもせよい出さんよらにまらんよらあつる感一そ  
うらなびきうる御也僕言よ

補遺二



<sup>古</sup>あるにんがは <sup>タリチヤコトフ</sup>ある事 <sup>何ヨリモ</sup>ある事 <sup>イコノミヤ</sup>ある事 <sup>テニフタラギヤ</sup>ある事  
 一を <sup>チヤヤラフ</sup>なる <sup>ガ</sup> <sup>ル</sup> <sup>ラ</sup> <sup>ア</sup> <sup>サ</sup> <sup>シ</sup> <sup>ハ</sup> <sup>ク</sup> <sup>ニ</sup> <sup>シ</sup> <sup>ト</sup> <sup>シ</sup> <sup>ト</sup>  
 一を <sup>チヤヤラフ</sup>なる <sup>ガ</sup> <sup>ル</sup> <sup>ラ</sup> <sup>ア</sup> <sup>サ</sup> <sup>シ</sup> <sup>ハ</sup> <sup>ク</sup> <sup>ニ</sup> <sup>シ</sup> <sup>ト</sup> <sup>シ</sup> <sup>ト</sup>  
 一を <sup>チヤヤラフ</sup>なる <sup>ガ</sup> <sup>ル</sup> <sup>ラ</sup> <sup>ア</sup> <sup>サ</sup> <sup>シ</sup> <sup>ハ</sup> <sup>ク</sup> <sup>ニ</sup> <sup>シ</sup> <sup>ト</sup> <sup>シ</sup> <sup>ト</sup>  
 一を <sup>チヤヤラフ</sup>なる <sup>ガ</sup> <sup>ル</sup> <sup>ラ</sup> <sup>ア</sup> <sup>サ</sup> <sup>シ</sup> <sup>ハ</sup> <sup>ク</sup> <sup>ニ</sup> <sup>シ</sup> <sup>ト</sup> <sup>シ</sup> <sup>ト</sup>

<sup>新</sup>あるにんがは <sup>タリチヤコトフ</sup>ある事 <sup>何ヨリモ</sup>ある事 <sup>イコノミヤ</sup>ある事 <sup>テニフタラギヤ</sup>ある事  
 一を <sup>チヤヤラフ</sup>なる <sup>ガ</sup> <sup>ル</sup> <sup>ラ</sup> <sup>ア</sup> <sup>サ</sup> <sup>シ</sup> <sup>ハ</sup> <sup>ク</sup> <sup>ニ</sup> <sup>シ</sup> <sup>ト</sup> <sup>シ</sup> <sup>ト</sup>  
 一を <sup>チヤヤラフ</sup>なる <sup>ガ</sup> <sup>ル</sup> <sup>ラ</sup> <sup>ア</sup> <sup>サ</sup> <sup>シ</sup> <sup>ハ</sup> <sup>ク</sup> <sup>ニ</sup> <sup>シ</sup> <sup>ト</sup> <sup>シ</sup> <sup>ト</sup>  
 一を <sup>チヤヤラフ</sup>なる <sup>ガ</sup> <sup>ル</sup> <sup>ラ</sup> <sup>ア</sup> <sup>サ</sup> <sup>シ</sup> <sup>ハ</sup> <sup>ク</sup> <sup>ニ</sup> <sup>シ</sup> <sup>ト</sup> <sup>シ</sup> <sup>ト</sup>  
 一を <sup>チヤヤラフ</sup>なる <sup>ガ</sup> <sup>ル</sup> <sup>ラ</sup> <sup>ア</sup> <sup>サ</sup> <sup>シ</sup> <sup>ハ</sup> <sup>ク</sup> <sup>ニ</sup> <sup>シ</sup> <sup>ト</sup> <sup>シ</sup> <sup>ト</sup>

あひ

あひ 俚言よりあひあるものいとしふかにしらすりいふま

らしらすらがるる也是かとあとのわかれ也かかかれかの  
いふ今あはみゆるものをいふあひあれあのかのいふあは  
ぬものをいふり但たむね人がいひみえぬ河をがら河  
ともいふいふは河をいふいふいふいふいふいふいふいふ  
乃かの條よりあひをいふいふいふ

あれ

あれ 古語拾遺曰古語事之甚切皆称阿那律云

あひらそはあひらそはあひらそはあひらそはあひらそはあひらそは  
あひらそはあひらそはあひらそはあひらそはあひらそはあひらそは  
あひらそはあひらそはあひらそはあひらそはあひらそはあひらそは

あひらそはあひらそはあひらそはあひらそはあひらそはあひらそは

あひらそはあひらそはあひらそはあひらそはあひらそはあひらそは  
あひらそはあひらそはあひらそはあひらそはあひらそはあひらそは  
あひらそはあひらそはあひらそはあひらそはあひらそはあひらそは

あひらそはあひらそはあひらそはあひらそはあひらそはあひらそは

あひらそはあひらそはあひらそはあひらそはあひらそはあひらそは

あひらそはあひらそはあひらそはあひらそはあひらそはあひらそは

あひらそはあひらそはあひらそはあひらそはあひらそはあひらそは

あひらそはあひらそはあひらそはあひらそはあひらそはあひらそは

あひらそはあひらそはあひらそはあひらそはあひらそはあひらそは

あひら

あひら

**あまの**

**黒言回又あまの**

あまの黒言回又あまの

あまの黒言回又あまの

あまの黒言回又あまの

あまの黒言回又あまの

あまの黒言回又あまの

あまの黒言回又あまの

あまの黒言回又あまの

あまの黒言回又あまの

あまの黒言回又あまの

あまの黒言回又あまの

あまの黒言回又あまの

五

**あまの**

あまの黒言回又あまの

あまの黒言回又あまの

あまの黒言回又あまの

あまの黒言回又あまの

あまの黒言回又あまの

**あまの**

あまの黒言回又あまの

あまの黒言回又あまの

あまの黒言回又あまの

ナニトセウ アラ イチワル  
 ンニセム アハル  
 秋トシノイサハ  
 ンニセム  
 ンニセム  
 ンニセム  
 ンニセム

変定ニシテ...

枯見ヨシ...

あつらひ...

カコレホド  
 古  
 後  
 申  
 千  
 例  
 海  
 申  
 五





そ奴の時ぢうりーしんまあめーしんまあしんぞとくひを

あつちそがぼろー

あつちをわろん人のつろしんまあなるしんまあしん  
ドウシタラバアノカウ トイフ オカ片 デナレニ カサ  
いっせうわかくちんまあしんまあしんまあしん

しんまあしんまあしんまあしんまあしんまあしん

しんまあしんまあしんまあしんまあしん

しんまあしんまあしんまあしんまあしんまあしん  
ニレテニタラバ トレホドー カサ  
しんまあしんまあしんまあしんまあしんまあしん  
ナニボウホト 何カサ  
いっせうわかくちんまあしんまあしんまあしん  
いっせうわかくちんまあしんまあしんまあしん  
いっせうわかくちんまあしんまあしんまあしん

しんまあしんまあしんまあしんまあしんまあしん

しんまあしんまあしんまあしんまあしん

しんまあしんまあしんまあしんまあしんまあしん

しんまあしんまあしんまあしんまあしんまあしん

しんまあしんまあしんまあしんまあしんまあしん

しんまあしんまあしんまあしんまあしんまあしん

しんまあしんまあしんまあしんまあしんまあしん

しんまあしんまあしんまあしんまあしんまあしん

しんまあしんまあしんまあしんまあしんまあしん

しんまあしんまあしんまあしんまあしんまあしん

しんまあしんまあしんまあしんまあしんまあしん

しんまあしんまあしんまあしんまあしんまあしん

しんまあしんまあしんまあしんまあしんまあしん

右 祀 チカニヨツチ 何千何百ホド

Can Can

何カニヤ

何カニヤ

右 トウツツカ 何カニヤ

何カニヤ

何カニヤ

何カニヤ

何カニヤ

何カニヤ

何カニヤ

何カニヤ

何カニヤ

何カニヤ

何カニヤ

何カニヤ

何カニヤ

何カニヤ

何カニヤ

何カニヤ

何カニヤ

何カニヤ

何カニヤ

チニツトニ  
丸和

九

大抵... 祖の... 大抵... 祖の...

事

事... 事... 事...

右

右... 右... 右...

ありあり... ありあり...

事

事... 事... 事...

右

右... 右... 右...

又... 又... 又...

事... 事... 事...

事

事... 事... 事...



是又 **Carbone** 何處に公する  
**Carbone** 何處に公する  
 金 **Carbone** 何處に公する  
 手 **Carbone** 何處に公する  
 イツクニニヤラ **Carbone** 何處に公する  
 テレニ **Carbone** 何處に公する  
 タツタ **Carbone** 何處に公する  
 カウキ **Carbone** 何處に公する  
 定 **Carbone** 何處に公する  
 十二

**Carbone** 何處に公する **Carbone** 何處に公する

古又 **Carbone** 何處に公する  
 後 **Carbone** 何處に公する  
 キモセヌニ **Carbone** 何處に公する  
 古 **Carbone** 何處に公する  
 古 **Carbone** 何處に公する  
 古 **Carbone** 何處に公する  
 古 **Carbone** 何處に公する

又 **Carbone** 何處に公する  
 又 **Carbone** 何處に公する  
 又 **Carbone** 何處に公する  
 又 **Carbone** 何處に公する  
 又 **Carbone** 何處に公する

**Carbone** 何處に公する **Carbone** 何處に公する

古 **Carbone** 何處に公する  
 古 **Carbone** 何處に公する  
 古 **Carbone** 何處に公する  
 古 **Carbone** 何處に公する  
 古 **Carbone** 何處に公する

**Carbone** 何處に公する



ハハ例也  
枯

枯人々...  
同カテ

干...  
オイテ

る...  
テカド其通リ

る...  
カ

**二例**...

何乃...

我...  
右

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

右 オロ 又 テチ 古

又 コソアル サシス サテ 又 コソアル サシス サテ

又 コソアル サシス サテ 又 コソアル サシス サテ

又 コソアル サシス サテ 又 コソアル サシス サテ

又 コソアル サシス サテ 又 コソアル サシス サテ

又 コソアル サシス サテ 又 コソアル サシス サテ

又 コソアル サシス サテ 又 コソアル サシス サテ

又 コソアル サシス サテ 又 コソアル サシス サテ

又 コソアル サシス サテ 又 コソアル サシス サテ

又 コソアル サシス サテ 又 コソアル サシス サテ

又 コソアル サシス サテ 又 コソアル サシス サテ

又 コソアル サシス サテ 又 コソアル サシス サテ

又 コソアル サシス サテ 又 コソアル サシス サテ





後乃二首のびるまらむと云ふは  
[抄] 後乃二首のびるまらむと云ふは  
[抄] 後乃二首のびるまらむと云ふは

廿

花

古

花

古

花

古

花

古

花

古

花

古

花

古

花

古

花

廿

花

古

花

古

花

古

花

古

花

古

花

古

花

古

花

古

花

古

花

古

花

古

花

ていしをひらきしめてかへりて  
**た**をひらきしめてかへりて  
 せいのなをひらきしめてかへりて  
 せいのなをひらきしめてかへりて  
 せいのなをひらきしめてかへりて  
 せいのなをひらきしめてかへりて  
 せいのなをひらきしめてかへりて  
 せいのなをひらきしめてかへりて  
 せいのなをひらきしめてかへりて  
 せいのなをひらきしめてかへりて

**ち**をひらきしめてかへりて  
 せいのなをひらきしめてかへりて  
 せいのなをひらきしめてかへりて  
 せいのなをひらきしめてかへりて  
 せいのなをひらきしめてかへりて

ちがにんをひらきしめてかへりて  
 せいのなをひらきしめてかへりて  
 せいのなをひらきしめてかへりて  
 せいのなをひらきしめてかへりて  
 せいのなをひらきしめてかへりて

ちがにんをひらきしめてかへりて  
 せいのなをひらきしめてかへりて  
 せいのなをひらきしめてかへりて  
 せいのなをひらきしめてかへりて  
 せいのなをひらきしめてかへりて

ちがにんをひらきしめてかへりて  
 せいのなをひらきしめてかへりて  
 せいのなをひらきしめてかへりて  
 せいのなをひらきしめてかへりて  
 せいのなをひらきしめてかへりて

屏風乃急なる花をよめる

古 タカカラ 紀 ナカ 乃 ナガク 急 チカ なる ナリ 花 ハナ を ヨメ る メ  
日 ヒ 乃 ナリ 急 チカ なる ナリ 花 ハナ を ヨメ る メ

うし ウシ 乃 ナリ 急 チカ なる ナリ 花 ハナ を ヨメ る メ

あ ア 乃 ナリ 急 チカ なる ナリ 花 ハナ を ヨメ る メ

古 コ 乃 ナリ 急 チカ なる ナリ 花 ハナ を ヨメ る メ  
日 ヒ 乃 ナリ 急 チカ なる ナリ 花 ハナ を ヨメ る メ

うし ウシ 乃 ナリ 急 チカ なる ナリ 花 ハナ を ヨメ る メ

あ ア 乃 ナリ 急 チカ なる ナリ 花 ハナ を ヨメ る メ

着時未必相着死

又云未必由詩得

二句ともよ末必乃字をこころがけ何れもみれば  
兼母のみれうし ウシ 乃 ナリ 急 チカ なる ナリ 花 ハナ を ヨメ る メ  
乃 ナリ 急 チカ なる ナリ 花 ハナ を ヨメ る メ  
あ ア 乃 ナリ 急 チカ なる ナリ 花 ハナ を ヨメ る メ





わががたのまゝにんがしきしきまのむすぶかへめ  
目にはぬをむのま

古ヨカアケルト

コニテコニト

あふそいせむらをりたるゆらじよるはむらぬえ

何毛

コニテコニト

をりたるむをのま

郭をーしむるまふらん

又古今のつづむらりしをりたるよりをよめるも

何をさうめてるくちるまむらりしむらむらよる

あふむらむらむらむらむらむらむらむらむら

後拾

しむらむらむらむらむらむらむらむらむらむら

むらむらむらむらむらむらむらむらむらむら

むらむらむらむらむらむらむらむらむらむら

かき抄上終

